

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させて頂きたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

◆実施日

2020年7月3日(金) ご依頼分より

◆変更項目

検査項目

- SCC
- 25OHビタミンD (ECLIA)
- 25ヒドロキシビタミンD
- 遊離フェニトイン
- 遊離バルプロ酸
- プレグナンジオール
- プレグナントリオール
- 17-KS7分画
- 白血病・リンパ腫解析検査(LLA) CD45ゲーティング
(造血器悪性腫瘍細胞検査)他、細胞性免疫検査



変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
02495	SCC	検査方法	CLEIA	ECLIA	測定試薬の変更に伴う、検査方法の変更
10475	25OHビタミンD 〔ECLIA〕	項目名称	25OHビタミンD (骨粗鬆症)	25OHビタミンD 〔ECLIA〕	測定試薬の変更に伴う、項目名称、検査方法、報告範囲、測定実施場所の変更
		検査方法	CLEIA	ECLIA	
		報告範囲	4.0未満、4.0~149、 150以上	3.0未満、3.0~99.9、 100以上	
		測定実施場所 (記号)	エスアールエルMUQS ラボラトリー (&E)	エスアールエル 八王子ラボラトリー (なし)	
56058	25ヒドロキシビタミンD	項目名称	25ヒドロキシビタミンD (くる病・骨軟化症)	25ヒドロキシビタミンD	詳細な名称表記への変更
54950	遊離フェニトイン	基準値 (治療濃度範囲)	1.0~2.0(μg/mL)	(設定なし)	ガイドラインに準じた基準値 (治療濃度範囲)の設定
54981	遊離バルプロ酸	基準値 (治療濃度範囲)	5.0~15.0(μg/mL)	(設定なし)	
51290	白血病・リンパ腫解析検査 (LLA) CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	案内書欄外	(モノクローナル抗体の記載箇所) CD1a	(モノクローナル抗体の記載箇所) CD1	適切な表記への変更
08183	プレグナンジオール	容器	容器記号 U20 (旧容器記号 YO)	容器記号 U00 (旧容器記号 Y)	容器の細分化による容器記号の再設定
08191	プレグナントリオール	容器			
08289	17-KS7分画	容器			
	細胞性免疫検査	報告内容	(細胞数不足の際) 「細胞数不足のため検査 できませんでした」	(細胞数不足の際) 「検体量不足のため検査 不可能でした」	適切なコメントへの変更

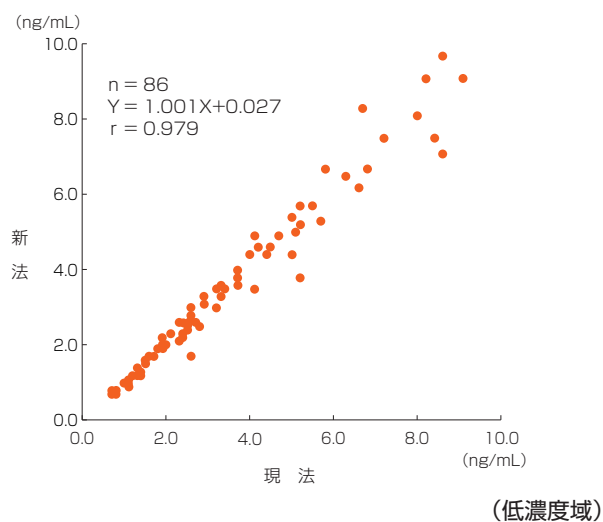
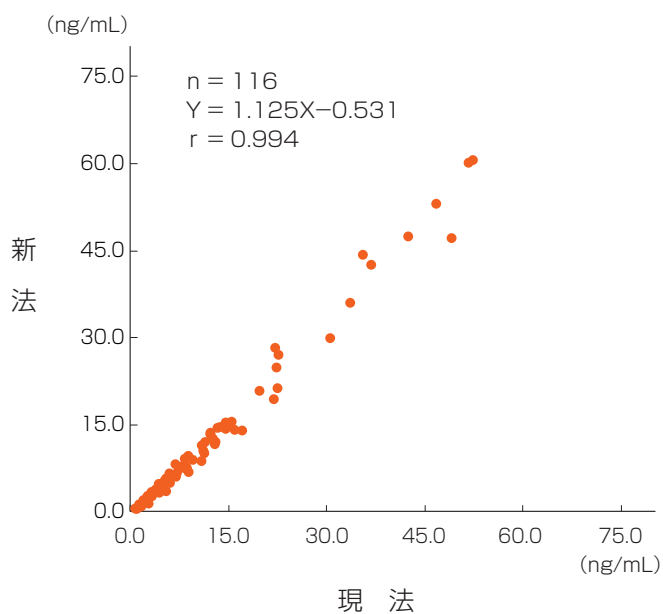
● SCC

測定試薬を変更させていただきます。
これに伴い、検査方法が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
02495	SCC	検査方法	CLEIA	ECLIA

▶ 現法と新法の比較

SCC



● 検査方法参考文献

林 圭織, 他: 医学と薬学 76 (12): 1809~1818, 2019.

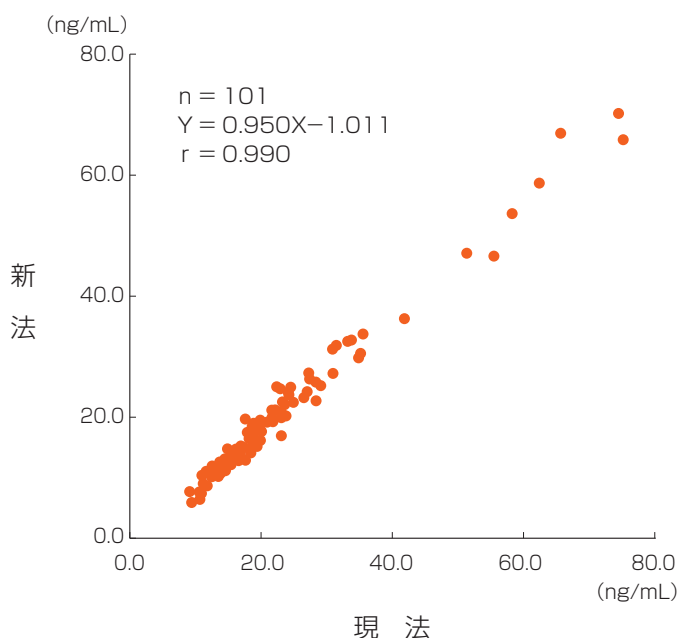
● 25OHビタミンD (ECLIA)

測定試薬を変更させていただきます。
これに伴い、項目名称、検査方法、報告範囲が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
10475	25OHビタミンD (ECLIA)	項目名称	25OHビタミンD(骨粗鬆症)	25OHビタミンD(ECLIA)
		検査方法	CLEIA	ECLIA
		報告範囲	4.0未満、4.0~149、150以上	3.0未満、3.0~99.9、100以上
		測定実施場所(記号)	エスアールエルMUQS ラボラトリー(&3)	エスアールエル八王子 ラボラトリー(なし)

▶ 現法と新法の比較

25OHビタミンD



● 検査方法参考文献

小島 哲: 臨床化学48 (3) : 239~244, 2019.

● 遊離フェニトイン、遊離バルプロ酸

最新のガイドラインに準じた基準値(治療濃度範囲)を設定いたします。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
54950	遊離フェニトイン	基準値 (治療濃度範囲) (単位)	1.0~2.0 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	(設定なし) ($\mu\text{g}/\text{mL}$)
54981	遊離バルプロ酸	基準値 (治療濃度範囲) (単位)	5.0~15.0 ($\mu\text{g}/\text{mL}$)	(設定なし) ($\mu\text{g}/\text{mL}$)